



4月5日
東地申第62号

「統括センター・営業統括センターの設立（第3期）について」に関する解明申し入れ
【大田営業統括センター】



2022年4月 「統括センター・営業統括センターの設立について」提案



詳細は 2022年度
TOKYOMAILNEWS
No.289をご覧ください。

2022年7月1日 営業統括センター第1期設立

2022年11月1日 営業統括センター第2期設立

**業務を熟知した
社員の育成が課題に！**

2023年3月16日 「統括センター・営業統括センターの設立（第3期）について」提案

2023年6月1日 統括センター・営業統括センター（第3期）設立



詳細は TOKYOMAILNEWS
No.278 をご覧ください。

そもそもの設立の目的は？

「社会の急速な変化を踏まえ『グループ経営ビジョン2027』の目指す鉄道起点のサービスから
ヒト起点のサービスへの転換に向けて、系統を超えて新たな価値の創造を一層推進していく
観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくもの」

労使で確認！

当初の目的がすべての営業統括センターに当てはまるのか？

1. 大田営業統括センターにおいて、今施策の目的をいかに達成するのか会社の考えを具体的に明らかにすること。
2. 大田営業統括センターにおける駅毎の特情について、会社の認識を明らかにすること。
3. 大田営業統括センターにおいて、社員育成・教育について具体的に示すこと。
4. 大田営業統括センターにおいて、制服を着用し駅相互間を移動する際の考え方を具体的に示すこと。
5. 大田営業統括センターにおいて、貸与品を保管するための個人用ロッカーなど必要な設備の整備について考え方を具体的に示すこと。
6. 大田営業統括センターにおいて、企画業務を行う体制をどの様に構築するのか考え方を明らかにすること。
7. 大田営業統括センターにおいて、設立後の新作業ダイヤの提示についてスケジュールを明らかにすること。また、社員からの意見集約について考え方を明らかにすること。
8. 大田営業統括センターにおいて、大森駅の当務副長が蒲田駅の当務副長を担う場合には運転取扱業務が必須であるが、教育のスケジュールについて考え方を明らかにすること。

組合員・社員の疑問や不安を解消するために、団体交渉の速やかな開催を求めます！